

**福岡市 実証実験フルサポート採択事業
「多目的 AI カメラサービス」の運用に
コカ・コーラ ボトラーズジャパン自動販売機を活用
地域社会との共創価値（Creating Shared Value : CSV）を推進**

コカ・コーラ ボトラーズジャパン(本社:東京都港区 代表取締役社長:カリン・ドラガン 以下当社)は、福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus」プロジェクトに採択された「多目的 AI カメラサービス」が福岡市東区の香椎副都心公共施設「なみきスクエア」で実施されることを受け、AI カメラの設置場所として、施設内の当社自動販売機を提供し、実証実験に協力します。

当実証実験は、九州電力株式会社(本店:福岡市中央区 代表取締役社長:池辺 和弘)と株式会社オプティム(本社:東京都港区 代表取締役社長:菅谷 俊二)により行われ、カメラで撮影した画像をAIで解析し、施設内の混雑検知やマスク装着有無の判別と装着喚起の有効性や技術的・運用上の課題を検証するものです。新型コロナウイルス感染症を予防する、新しい生活様式を取り入れたまちづくりに貢献を果たすことを目的とし、AIカメラは当社自動販売機上部に設置されます。自動販売機の高さが撮影条件に見合い、また、「なみきスクエア」内の既存自動販売機を活用することでスムーズな実証実験の展開に貢献できることから、AIカメラの設置場所として自動販売機を提供することになりました。

当社は、「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」というミッションのもと、本業を通じて地域が抱える課題を解決するため、共創価値（Creating Shared Value : CSV）に取り組んでいます。今回においても、日常生活の身近な存在である自動販売機を活用いただくことで、当社も新しい生活様式を取り入れたまちづくりに貢献できればと考えています。

■参考「多目的AIカメラサービス」について

※詳細は九州電力のリリースをご確認ください (https://www.kyuden.co.jp/press_h201203-1.html)

▶機能・サービスの分だけカメラが必要



多目的カメラサービスの提供で
新たな生活様式に貢献



※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。